

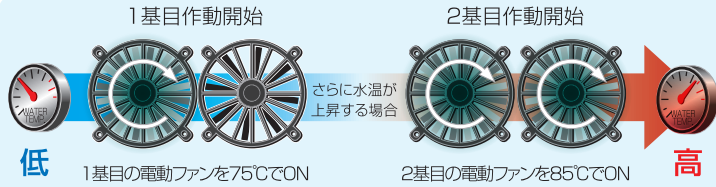
■VFC-Max・VFC-Pro"DD"の共通性能

**電動ファン2段階コントロールについて**

純正で電動ファンの作動を2段階以上のコントロールで制御している車種に関しては、装着により、2種類の作動温度で電動ファンをコントロールできるようになります。

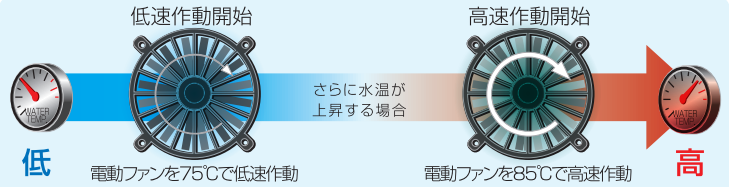
電動ファン2基の場合…1基ごとに別々のファン制御が可能

図のように電動ファンが2基装着されており、純正制御で2段階のコントロールがされている場合は、1基ごとに作動温度を設定することができます。



電動ファン1基の場合…速度切替ポイントの独立制御が可能

図のように大型の電動ファンが1基装着されており、作動スピードが2段階に設定されている場合は、作動スピードの切替ポイントを設定することができます。



**電動ファンディレイOFFについて**

電動ファンディレイOFFとは・・・

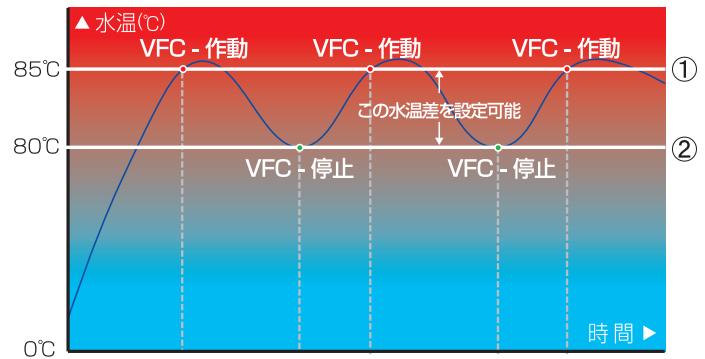
「電動ファンが作動してから、水温が何°C下がったら電動ファンを止めるか」についての設定です。この機能を設定することにより、電動ファンモーターを頻繁なON/OFFから守ります。

右のグラフの①～②の温度差を設定可能です。

この機能が付いたVFCでは、以下のファン制御が可能になります。  
(例) 電動ファン作動水温「85°C」ディレイOFF「5°C」の設定。

- ・水温が右のグラフの①の地点(85°C)まで上昇する。
- ・電動ファンが作動を開始する。
- ・電動ファンがラジエーターを冷却し、水温が低下を始める。
- ・水温が、設定した温度(5°C)の分だけ冷却されたら、②の地点(80°C)でファンが停止する。
- ・ファンが停止すると、再び水温が上昇し、設定水温で再びファンが作動するという制御を行います。

この機能は、2段階制御が可能な車向の場合、低速・高速それぞれのファン作動に対して有効となります。



**追加センサーについて**

別売追加センサーを装着することで、多彩な温度管理が実現します。

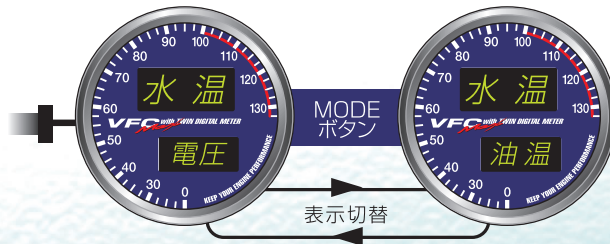
追加センサーを装着していない場合

メインインジケーターには「水温」、セカンドインジケーターには「バッテリー電圧」が表示されます。



追加センサーを1つ装着し油温を計測した場合

メインインジケーターには「水温」、セカンドインジケーターには「バッテリー電圧」と「油温」が切り替えて表示されます。  
※セカンドインジケーターの表示切り替えは本体MODEボタンにより行います。



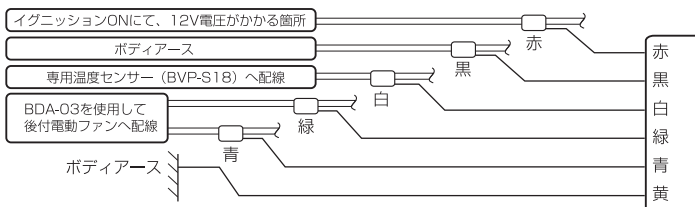
追加センサーを2つ装着し油温と吸気温を計測した場合

メインインジケーターには「水温」、セカンドインジケーターには「バッテリー電圧」と「油温」と「吸気温」がスクロール表示されます。  
※セカンドインジケーターの表示切り替えは本体MODEボタンにより行います。



**汎用設定**

VFC-Maxは、適合車種以外でも使用できる汎用タイプ(商品コード: BVM-3)を設定。また、VFC-Pro"DD"(商品コード: BVP-PRO2)とVFC II(商品コード: BVTW-00)はディップスイッチによる設定変更で汎用使用が可能です。別途、専用温度センサー(商品コード: BVP-S18)をラジエーターホースなどに取付け、そこで取り出された水温信号をもとに後付電動ファンをコントロールできます。後付電動ファンの制御には、専用の電動ファンリレーハーネスキット(商品コード: BDA-03)が必要となります。



VFCシリーズ  
(汎用設定)